



検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

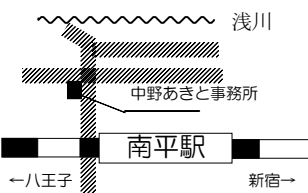
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)

(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2020年
12月発行

第216号

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



住民全面勝訴―東京地裁が判決 北川原公園内のごみ搬入路は違法



▲勝利判決を報告する記者会見 (11/12)

▼「日野市は判決に従え」と市役所前でコール (11/25)



とくにこの
1年間の答弁
は「適法だと
認識している」
の一点張りで、

**住民のたたかいと
裁判所の見識に敬意**
中野あきと

私は約5年間、都市計画法に照らして通すことのできないごみ搬入路を、日野市が強行してきたことを議会で追及し続けました。

搬入路の法的問題点を指摘するたびに、日野市は説明を次々と変え、その度に新たな矛盾を抱え込みました。

新可燃ごみ処理施設へのごみ搬入路を、北川原公園内に通した日野市に、11月12日、東京地裁は「違法」の判決を下しました。

同公園は、森田革新新市政の時代にごみ処理施設や下水処理場が集中することになった地域の住民に、環境のよいまちづくりを進めることを約束して都市計画決定されたものです。

判決は、こうした歴史的経緯にも触れ、また都市計画法の原理原則と、ごみ搬入路の実態を踏まえ、日野市の言い分を丁寧に検討した上で、そのすべて退けました。

もはや議論することさえ放棄していると思わざるを得ませんでした。まさに「無理が通れば道理が引く込む」の態度でした。

裁判所は、こうした日野市の態度を「法的に許されない」と断罪したのです。本当に良かったです。司法は生きていました。

大坪冬彦市長には、控訴を取り下げて判決を正面から受け止め反省し、住民と共に違法状態の解決に踏み出すことを強く求めたいと思います。

これまでのたたかいと判決が生き、「自治のまち・日野」にふさわしい解決策を、私自身も住民のみなさんとともに見出ししていきます。

剪定枝拠点収集廃止で 日野市が代替え策

「不法投棄がある」という理由で日野市が廃止を決めた剪定枝の拠点収集事業。共産党市議団は12月議会で「多くの市民はルールを守っている」「日野市の緑化推進施策から見ても問題」として存続を主張しました。

日野市は事業廃止は撤回しませんでした。が、「月に1度程度クリーンセンターへの無料持ち込みを考えたい」と答弁しました(みなさんの声をお寄せください)。

- 5年間の論戦に対する市長の答弁
- 総合的行政的判断だ。原理原則を柔軟な解釈によってやっていかなければならないと考えている。(16年3月議会)
- どう法的に整理をすればいいか…。違法行為はできないし、投入された税金は無駄にできないし、解決策を模索していきたい。(16年12月議会)
- 行政の長としてどうしたらいいか。住民自治の問題も、法的問題もクリアしながら進めていきたい。(16年12月議会)
- 法的に問題がない形で進めてきた。問題があるとは考えていない。(17年3月議会)
- 法は一つで解釈は幅が広い。いろんな解釈ができる。都合よく(解釈して)と言われるが構わない。あくまで都合よく解釈して適法な運営をしてきたと思っている。(19年12月議会)



短信

「自助」によるお願いだけで大丈夫なのか。「静かなマスコ会食」を国民に呼びかけた菅首相…。少人数、小声など「五つの小」を都民に要請した小池都知事…。後追えど先回りしたためし無し。「朝日」朝刊に投稿された川柳である。後手後手の泥縄ぶりに心配の声が上がり、政府の感染対策分科会からは「英断を心からお願ひする」と迫られた菅首相。しかし「GO TO」の見直しは運用の一部だけ。第3波が収まることはとても思えない。▼「集団感染の多発から医療機関と高齢者施設を守れ。これらの施設には定期的な検査の徹底を」PCR検査は自治体との折半ではなく全額国庫負担で。「全国一律の『GO TO』運用は止め抜本的な見直しを」。危機的な事態に共産党・志位和夫委員長は、11月12日の「提言」に続き、19日には「緊急の提起」を行った▼菅首相に、ぜひ見習ってほしい人がいる。一人はニュージーランドのアーダン首相。コロナ禍の中、頻繁に国民へ語りかけ、記者の質問は終わるまで付き合う。もう一人は通い始めた近所の歯医者さん。検査の映像を見せながらの丁寧な治療方針の説明。次回の治療内容と、それに要する時間まで伝えてくれた▼記者の質問に背を向け足早に立ち去る首相。国会答弁はぜひ、お役人が差し出すメモに頼らず「自助」で国民と向き合ってください。臨時国会での答弁拒否111回。貴方の不名誉な記録である。

河内元副市長の兼業違反で新事実 市長「徹底的な調査をしなければならない」

12月市議会中野議員が暴露

退職後、日野市立病院で院長相談役として勤務しながら川辺堀之内区画整理組合でも役職に就き兼業を禁止した地方公務員法38条違反として問われていた河内久男元副市長。

他にも2つの医療法人で監事を務めていた事実が、12月市議会の中野あきと議員の質問で明らかになりました。

共産党市議団の調査によれば河内氏は、平成27年4月以降昨年の10月まで、ある診療所・医療法人の役員として監事を務めていました。

さらに他の病院・医療法人においても役員・監事を務めていたことも明らかにしました。これらは市立病院で働いていた時期と重なり、兼業違反はもとより、市立病院での勤務実態との関係で、賃金支給の妥当性も疑われます。

しかも先の診療所は、たかにはた保育園の民営化の受け皿となった土地・建物所有者の親族が経営し、土地・建物所有者には保育園の家賃補助として市が2億4000万円の一括補助という異例の支援を行っています。

元副市長らの不正疑惑の真相を究める公開シンポジウム



不正疑惑の真相究明を求める公開シンポジウムで報告する中野あきと市議(11月23日)

新事実の暴露に議場に衝撃が走るなか、答弁に

兼業違反にとどまらず、巨額な補助金支出そのものの妥当性が疑われる重大問題です。

たった大坪冬彦市長は「徹底的な調査をしなければ。市の職員力量だけでは厳しい。専門家の力を借りて徹底説明していかねばならない」と答弁しました。

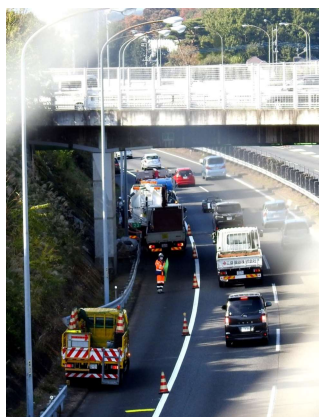
河内氏をめぐる疑惑は根が深く、なおかつ広範囲に及んでいる可能性があります。

中野議員は、質問の最後に、河内氏の現役副市長時代も含め、一体、どういう行政運営が行われていたのか、どこまで市政が歪められてきたのか、全面的な調査・検証が必要であることを強く求めました。

中央自動車道に架かる「緑橋」補強工事

手抜き工事が報道された中央自動車道に架かる「緑橋」の補強工事が11月11日より始まりました。

工事期間は約1ヶ月。市道の通行止めはありませんが、一時的に交通規制が行われます。



こんにちは 清水とし子です ④

新型コロナの検査等の強化を求める署名にご協力を



新型コロナ感染症の第3波が広がっています。命と暮らしを守り、社会活動との両立を図るためにも、感染拡大を止める緊急対策が求められています。

しかし、東京都も国も「マスク会食」「五つの小」と、自己責任で乗り切れという姿勢です。

そのような中で、日本共産党は東京都知事あてに「感染拡大の『第3波』到来を直視し、『検査・保護・追跡』を抜本的に強めることを求める署名」を開始しました。

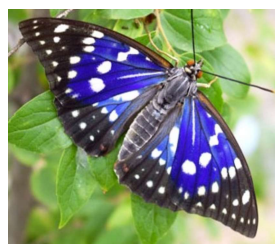
この署名は、感染拡大を止めるために、感染者が急増している地域では無症状者を含めて検査を行うこと、介護・障害者施設だけでなく、保育施設や学校などでも、定期的な検査を行うことを求めています。

また、保健所を増設し職員体制を増やすことや、都立病院・公社病院の機能を縮小する計画の撤回、医療機関への財政支援も求めています。

今年7月から11月にかけて日本共産党が都知事に提出した署名は、高齢者や障害者施設でのPCR検査の実施に道を開きました。今度の署名で東京都をさらに一歩前へ進めたいと思います。みなさんの、ご協力をお願いします。

(都議予定候補・清水とし子)

《平山の虫はかせ》 なかむらさんの昆虫の話



⑧日本の国蝶 オオムラサキ

北海道から九州まで全国的に棲息する9cmほどの大型で美しいタテハ蝶で、日本の国蝶です。オスは紫色にかがやき、食樹であるエノキの周りを滑空して飛び、クヌギやコナラの樹液に集まります。

平山城址公園等でも、十数年前まではクヌギの樹液に見られましたが、開発が進み住宅が建ったため、住む(発生)場所がなくなり、日野市からは姿を消してしまったようです。私の標本にも、1963年から70年代が10匹ほどあるくらいです。

今は、高尾山付近でオオムラサキが滑空する姿がみられます。これからもオオムラサキや虫たちが棲息する里山や雑木林を守ってゆくことが大切になってきています。日本の国蝶が長く生きられる環境をどう守り続けていくか、今後の課題です。(おわり)

(虫を集めて60年余) 平山6丁目 中村 芳樹

【2021年1月の無料法律相談日】

- 1月は、第一木曜日の相談日はありません。
 - 14日(木) 午後1～3時 日野市役所6階共産党控室
お申込みは清水とし子事務所 ☎042-582-1042
- ◎法律相談以外のお困りごともお気軽に
中野あきと事務所 ☎042-599-3350

しんぶん
赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円

◎短期間のお試し購読。一部売りも。

お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所